



自治会どす 2023年度 第5号

発行日：2023年3月27日
「自治会どす」第5号
発行：境谷第二住宅自治会
発行責任者：辻森雅俊

自治会長の振返り

▼振り返れば、私の力不足を感じるばかりの一年間でした。

▼確かに様々な要因による制約の多い中での活動ではあったものの、地道に交流を図り、竹林のように目には見えなくとも互いの根っこでつながっていることを実感できる算段を図れなかったものか、と。

▼第一住宅さんに倣って始めたおかいもの便はその一端を担えたかしら、と思ひもし、他の自治会の方からも試みたいとの声を聞くにつけ、共有しているはずの様々な課題に、案外、各町の工夫や対応について互いが知らないことも実感しました。

▼「互いの顔を知った関係を培っていかなければ防災はできない」。これはある防災士さんの言葉です。きっと防災だけの話ではない気がします。

▼この一年、私にとってはたくさんの方の支えをいただき、助けていただきました。会長を務めていなければ言葉を交わすこともなかった方々がたくさんおられます。この場を借りてお礼申し上げます。そして間もなく新しい役員の方々にバトンをお渡しする日を迎えようとしています。ありがとうございました。

2022年度自治会の主な活動

■ イベント

当年度は自治会で企画するイベントは夏祭りを含め中止と決定。

■ 自治会費

年間 1,000 円に決定

■ 募金等

①赤十字募金 ②赤い羽根募金
③社会協議会賛助会員
総額 328,800 円

■ 清掃

春季学区一斉清掃(5/8)69名
秋季学区一斉清掃(12/11)79名

■ 時代祭 (10/22) への参加

■ 敬老の日の記念品贈呈(114戸)

■ おかいもの便 (9/26 から開始)

■ 古紙回収(今年2月から月2回)

■ 自主防災訓練

①西京区防災訓練 (10/30)
②境谷学区防災訓練 (11/20)
③第二住宅防災訓練 (1/29)

■ 非常時居住者名簿

棟集会で修正、確認実施済み。
更新した名簿は新班長に配布予定



自治会の課題認識

■自治会会員減少

今年度の自治会員は 411 名。
全居住者の 2/3 にあたります。
高齢化や自治会活動の負担感から、
減少傾向が続いています。
しかし行政からの情報は自治会員に
届くので、災害発生時には有用な
情報網元にもなります。
減少を止める取組みが必要です。

■自治会活動の負担感の軽減

「自治会会員にはなってもいいけど
班長にはなりたくない」と言われる
居住者がおられます。
理由は班長の負担が大きいとの思い
です。
自治会の目的を達成しながらも、
負担感を軽減する為、班長作業の
見直しが必要です。

■高齢化

当団地への入居が始まった時代、
多くの居住者の年齢は 30~40 代で
それから 40 年経ち、その時の居住
者の年齢は 70~80 代になっていま
す。
足腰が弱り、体の自由が利きにくく
なった方々の為、様々なサポートが
必要になります。
当時問題無かったルールや住環境も
高齢者に合ったものに変えていく必
要があると思います。
自治会が高齢者をどうサポートして
いけるのかの模索が続いています。

明るい兆し

■若い世代へ期待

自治会の課題として高齢化を
上げましたが、その第一世代の
子供として当団地で育った第二
世代が増えています。
次年度の自治会会長もその世代
のひとりで 30 才代の男性に決
まりました。

また、新たに入居される若い家
族も増えています。
自治会も徐々に世代交代が進ん
でいくことと思われます。

行動力のある若い世代会員と、
経験豊富な高齢会員の混在時代
になることで、新しい自治会
に変わっていくと思います。

■自治会活動の負荷改善

イベントの数を減らすだけでなく、
作業負荷を如何に減すか。

例えば班長会の回数を減らす、
大きな負担となっている回覧や
掲示作業も、パソコンやスマホ
を活用して、資料作成、印刷、
配布、回覧の数を減らすこと等
で改善を進めるたいものです。

終りに

この 1 年、コロナ禍の環境下での
運営となり、イベント含め活動が
縮小する中でも、募金や各活動に
ご協力いただき、ありがとう
ございました。